

令和6年度 第4四半期（1～3月）における電気関係報告規則に基づく電気関係事故報告について、概要をとりまとめましたのでお知らせいたします。今期においては以下の通りです。

感電等死傷 事故	電気火災 事故	物損等事故	破損事故	供給支障 事故	発電支障 事故	波及事故	社会的影響 を及ぼした 事故	合計
1	0	0	5	1	0	4	0	11

電気保安に携わる皆様におかれましては、これらの事故に伴う損失・被害を十分に認識し、保安意識・技術の向上や、適切な点検・計画的な設備更新を図るとともに、自主保安体制の充実・強化に努め、電気事故の防止に役立てていただきますようお願いいたします。

感電等死傷事故

発生施設	発生年月	電気 工作 物	原 因	概 要	事 故 原 因	再 発 防 止 策
変電所	令和7年3月	移動 用変 圧器	故意・ 過失(火 災)	配電用変圧器定期点検の準備作業として、定期点検中における6.6kV配電線仮供給用の移動用変圧器(110/6.6/22kV)を設置した後、その使用前に常規対地電圧(110kV)で絶縁耐力試験を実施したところ、移動用変圧器が爆発、火災が発生し、付近にいた作業員2名が巻き込まれ負傷、病院へ搬送された。	移動用変圧器3次ブッシング(22kV)の輸送用カバーを取り付けた状態で移動用変圧器を充電したため、移動用変圧器3次ブッシングと輸送用カバーの離隔不足により移動用変圧器3次側で短絡が発生し、ガスやスラッジが発生した油が移動用変圧器の下部へ還流して各相巻線間の絶縁が低下し、移動用変圧器1次短絡に至り、タンク破損(噴油)し火災が発生した。	検討中

主要電気工作物の破損事故

発生施設	発生年月	電気工作物	原 因	概 要	事 故 原 因	再 発 防 止 策
風力発電所	令和7年1月	ブレード	自然現象 (雷)	風力発電機ブレードに受雷し、雷検出装置にて検知し、風力発電機自動停止（エラー発報）。天候回復後、受雷発生により停止している風力発電機のブレード外観点検開始したところ、ブレード先端部に170cmの開口を確認。	自然現象（雷）	検討中
太陽電池発電所	令和7年2月	PCS	保守不備 (自然劣化)	破裂音と共にPCS（62.5kVA）が大きく破損し、煙が発生。電力供給停止した。交流ブレーカーと直流スイッチの開放を実施し、状況確認のうえ、機器を取り外した。	PCS内のIGBT素子不具合により、コンデンサに接続された回路が過電圧となりコンデンサ破損となった。IGBT素子不具合の原因は、偶発的性能劣化が推定される。	IGBTの偶発的性能劣化を原因としており、抜本対策がとれないことから、当該故障を検知した場合、速やかに交流ブレーカーを開放して使用停止とすることで被害悪化を防止。
風力発電所	令和7年2月	ハブ	保守不備 (自然劣化)	風力発電機月例巡視点検の際にタワー入口付近にノーズハッチ（風車ハブ（回転体）にあるハブ内への出入り口用のカバー）が落下していることを発見。	調査中	検討中
太陽電池発電所	令和7年2月	架台、アレイ	自然現象 (冰雪)	積雪が続いていたこともあり主任技術者が点検に行ったところ、積雪による架台及び太陽電池アレイの損壊を確認。	自然現象（冰雪）	－
風力発電所	令和7年3月	ハブ	保守不備 (自然劣化)	当該発電所において同年2月に発生したノーズハッチ落下に伴い、他号機の健全性を確認したところ、当該号機のノーズハッチのガタつきが確認されたことから、パッキン交換を計画していたところ、交換前にノーズハッチが落下したものの。	調査中（中間報告）	検討中

供給支障事故

発生施設	発生年月	電気 工作物	原 因	概 要	事 故 原 因	再 発 防 止 策
配電線路	令和7年2月	特別高圧 送電線	他物接触 (その他 他物接 触)	一般送配電事業者の配電線 路が地絡により停電し、再 閉路不成功で供給支障と なった。	風による電線揺動時に柱上 にある絶縁電線とその下部 にあった鳥害防止器の針状 部分が接触し、電線被覆を 損傷させたことによる絶縁 不良。	風による電線の揺動によ り、電線と鳥害防止器が接 触することがないように、鳥 害防止器の取替を行う。

一般送配電会社に波及した事故

発生施設	発生年月	電気 工作物	原 因	概 要	事 故 原 因	再 発 防 止 策
需要設備	令和7年1月	高圧ケー ブル	自然現象 (塩、ち り、ガ ス)	一般送配電事業者のDGRが動作し、停電が発生した。 一般送配電事業者にて高圧ケーブルの接続部を切り離し、配電線を復電。 主任技術者が現場に到着し、調査を開始。高圧ケーブルを調査した結果、絶縁不良（0MΩ）であった。	高圧引込ケーブルの端末部分において、塩害による影響を受ける環境が有り、劣化の進行を早め地絡に至った。 一般送配電事業者分岐開閉器～VCB 1次側までは、地絡保護範囲外であるため、波及事故となった。	高圧引込ケーブルの端末部分は、塩害による影響を受ける環境に有るため、高圧引込ケーブルの端末部分を耐塩仕様に変更する。
需要設備	令和7年2月	PAS	保守不備 (自然劣 化)	一般送配電事業者のDGRが動作し、停電が発生した。 一般送配電事業者にて高圧ケーブルの接続部を切り離し、配電線を復電。 主任技術者が現場に到着し、調査を開始。区分開閉器を調査した結果、絶縁不良（0.05MΩ）であった。 区分開閉器1次側で絶縁破壊し、波及事故となった。	区分開閉器内で経年劣化による絶縁破壊が起こり地絡による波及事故となった。 地絡箇所が、区分開閉器内の開閉部 2 次側から零相変流器の間の地絡継電器保護範囲外で発生し、波及事故に至ったと推測される。	区分開閉器の更新を実施。 主任技術者からの指摘事項に対して更新計画を計画し実施していく。
需要設備	令和7年2月	PAS	保守不備 (自然劣 化)	当該事業場にて爆裂音が発生し、停電。 事業場従業員が構内PASから煙が出ているのを確認 設置者より管理技術者へ事故連絡があり出勤。 電力会社にて当該事業場を切り離し復電。	ガス封入型のPASを28年以上使用して耐用年数を大幅に超えていたため、経年劣化によりブッシング等から六フッ化硫黄ガスが抜け、絶縁が保てなくなり内部で相間短絡したと推定されている。	PASは取り替え済み。なお、その他の取り替え更新時期を超過した機器は、「更新時期判定の手引き」を活用した上で適宜更新する。
需要設備	令和7年3月	PAS	自然現象 (雷)	当該事業場の区分開閉器（PAS）が落雷により焼損し、波及事故に至った。	自然現象（雷）	－